

# 2011 津別ウッドクラフト展

## ～入賞作品紹介～

大人の部 優秀賞

「彫り風船」

牧 芳彦さん（愛知県西尾市）



【講評】

手加工中心の根気のいる作業です。高度な技術で、柔らかい紙風船のイメージが、見事に表現されています。

大人の部 優秀賞

「使って楽しい、飾って楽しい木の葉コースター」

障がい者地域活動支援センター札幌クローバー会（札幌市）



【講評】

実用的でデザインも良く、技術も確かです。使って楽しい、飾っても楽しめる作品となっています。

子どもジュニアの部 優秀賞

「ぺんたて」

兼平 大地さん（津別町）



【講評】

一生懸命にやすりをかけたこと、糸のこでの造形など、努力をされたことがわかります。

子どもジュニアの部 優秀賞

「ペン立て」

兼平 航志さん（津別町）



【講評】

面取りもしっかりされており、糸のこの技術も確か。丁寧に作られています。

審査員特別賞（子どもジュニアの部）

「えんぴつたて」

金田 魁斗さん（津別町）



【講評】

板を美しく生かすセンス、色彩バランスなど良い作品です。実用性もあり、丁寧に作られています。

審査員特別賞（大人の部）

「十二支」

守屋 茂さん（埼玉県八潮市）



【講評】

日本伝統の象嵌（ぞうがん）という技術を駆使した作品。大変高度な技術で作られている、極めた人の作品です。

審査員特別賞（子どもジュニアの部）

「サイコロペン立て」 オ川 智希さん（津別町）



【講評】

サイコロのアイデアが素晴らしい。サイコロの目のドリルでの穴も、正確に開けられています。

審査員特別賞（子どもジュニアの部）

「カラフルないす」 松平 玲奈さん（津別町）



【講評】

作るのが難しいイスに挑戦した志が良く、一生懸命に作られたことが伝わります。色も丁寧に塗られています。

大人の部 最優秀賞

「玉子の灯火」

斉藤 洋司さん（北見市）



【講評】

作るのが大変だったと思われる力作です。発想力も評価されます。夜、玉子が回転し、幻想的で美しく、優しい光が浮かび上がります。

愛林のまち・津別町の木工作品展「2011津別ウッドクラフト展」。14回目となる今回のテーマは『あったらいいなあ、こんなもの』です。全国各地から寄せられた力作の中から、入賞作品10点を紹介します。

子どもジュニアの部 最優秀賞

「どんぐりの葉っぱの皿」

小学4年生以下

加賀谷 優心さん（札幌市）



【講評】

造形も彫りの技術も素晴らしい。実用性があり、見ても楽しい、今回のテーマにぴったりの作品です。